

保健福祉情報さいわい

2024 年
8 月号

発行：幸区役所 〒 212-8570 川崎市幸区戸手本町 1-11-1

窓口（電話）取扱時間：平日 8:30～17:00〔土日祝日・年末年始は休庁〕
昼休み窓口業務については、各担当者にお問合せください。

●お問合せ：地域ケア推進課 電話 044-556-6730

保健福祉情報さいわいは、年 2 回発行しています。



しあわせプラン

～もし幸区民全員が
この本を読んだら～

「幸区に住んでよかった」「幸区に住み続けたい」。ひとりでも多くの方がそう感じられるように、幸区のまちをより暮らしやすいまちにしていくための方策がまとめられています。

たくさんの方に知ってもらうための「目を引く表紙」、たくさんの方に興味を持ってもらうための「親しみやすいタイトル」、たくさんの方に読み進めてもらうための「プロローグの導入」。

そんな思いを込めて、第7期幸区地域福祉計画として策定しました。しあわせプランは幸区役所地域ケア推進課の窓口で配布しています。または、区のホームページからアクセスしてみてください。



特集

第7期幸区地域
福祉計画が
策定されました!

2 第7期幸区地域福祉計画
“しあわせプラン”を見てみよう!

3 認知症サポーター養成講座
「さいわいメンタルヘルスチャンネル」
YouTube 公開中!

4 公園で元気に! プレパであそぼ!!
出張青空子育てひろば おでかけぽかぽか

5 幸区役所に献血バスが来ます!

6 あかちゃん銭湯でコンニチワ!

7 食中毒に気をつけて!
市制100周年記念事業

8 第7回 #想いをつなぐ

特集

3年に一度

第7期幸区地域福祉計画
“しあわせプラン”を見てみよう!

基本理念 夢がひろがり、想いがつながり、心がとどくまちさいわい

基本目標1
【自助】

一人ひとりに
【ひろがる】



地域包括ケアへの理解と
参加の広がりによる
区民主役の地域づくり

基本目標2
【互助】

地域で
【つながる】



人と地域のつながりが
活発で、見守り、支え合う
ことのできる地域づくり

基本目標3
【共助・公助】

必要な時に
【とどく】



総合的な体制で
必要な相談・支援が
届く仕組みづくり

自助・互助は区民で、
共助・公助は行政が
主体なんだね。

方針1-1 《知る》#わがまち、#地域包括ケア

方針1-2 《保つ》#子どもの健康、#自分の健康

重点項目

方針1-3 《参加する》#地域活動、#ボランティア

重点項目

方針2-1 《つながる》#地域活動、#地域資源

方針2-2 《育む》#交流の場、#新たな活動

重点項目

方針2-3 《支え合う》#多様性、#見守り

方針3-1 《届ける》#専門性の高い情報

方針3-2 《充実させる》#相談支援機能

重点項目

方針3-3 《進める》#防災、#防犯、#訓練

基本目標4

【すすめる】

地域福祉を進める基盤体制の確立とネットワークづくり

【方針1-3】

自分が興味のある活動に参加することで、自身の健康づくりや生きがいづくりにつなげることができます。自分に合った地域活動を探してみましょう。



さいわい縁むす日事業

【方針2-1】

地域の特徴や活動について知ることは、人と人とがつながるきっかけの1つになります。まずは、自分の地域について知り、情報を得るところから始めてみましょう。その後、町内会・自治会の活動や、公園や道路といった区内の様々な地域資源を活用し、つながりをつくることで、地域を元気にすることにもつながります。



「保健福祉情報さいわい」

【方針2-3】

様々な分野の講座、展示、体験を通じて、多様な人が共にこのまちに住んでいることへの理解を深めましょう。地域の身近な場から、お互いを知り、つながることで、見守り、支え合う意識と関係をつくることができます。



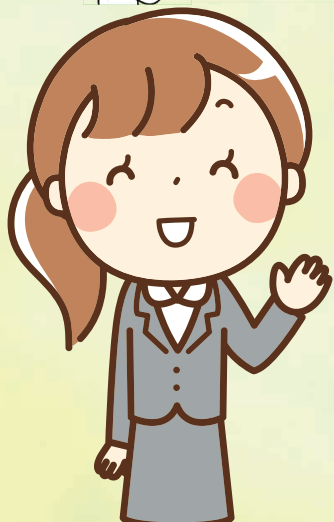
パラスポーツ体験会

【方針3-3】

幸区では、自主防災組織、避難所施設管理者、医療・福祉関係の施設などと日頃から連携し、訓練を実施することで、災害時に備えた取組を進めています。



避難所開設訓練



／＼そのほかにもいろいろ！／＼

地域活動の魅力はやりがい

地域のために地元の中学生と一緒に運動会を行ったり、子どもが安全に登校できる環境を整えたり、自分の地域のため、誰かのために何かをする、その方たちから伝わる地域活動の魅力、それは地域包括ケアシステムを推進する上で、なくてはならないものです。そういった活動の一部を写真で紹介するパンフレットを作成しました。



「しあわせプラン」と連動した「地域福祉活動計画」

幸区の地域福祉を推進するための実践的な計画です。社会福祉協議会が呼びかけて、住民・地域において社会福祉に関する活動を行う方、社会福祉を目的とする事業を経営する方が、共に取り組んでいくための参画と協働のあり方を示しています。



■ お問い合わせ：地域ケア推進課

電話 044-556-6730

幸区認知症サポーター養成講座

認知症の特徴と、認知症の人の行動の背景を学び、認知症の人が安心できる関わり方についても知ることができる講座です。

認知症は、誰もがなりうる可能性があり、高齢になると、そのリスクが高まります。しかし、認知症になると何もできなくなるということはありません。その方ができることを活かせるようにまわりの人が配慮することで、地域で安心して暮らすことができます。認知症について正しく理解し、考えることが大切です。認知症の方とその家族が安心して暮らせるまちづくりに向けて地域全体で考えていきませんか？



日時 9月25日(水) 10:00～11:30

講師 柴田範子先生（『NPO 法人・楽』理事長）

場所 幸区役所4階 第3会議室

申込 8月26日(日) 9:00～電話または窓口

【ロバくん倶楽部】

ロバくんとは、認知症の人とその家族が安心して暮らせるまちづくりの取り組み「認知症サポーターキャラバン」のキャラクターです。全国的には「ロバ隊長」と言われていますが、幸区では「ロバくん」の愛称で呼んでいます。毎年区内の小学校で「認知症サポーター養成講座」を行っており、認知症にさらに関心を持ってもらうため、受講した小学生に『ロバくんストラップ』をお渡しできるよう、準備中です。

この『ロバくんストラップ』は地域の皆様にご協力いただき作製しています。講座を受講した小学生にお渡しするため、たくさんのおバくんが必要となります。お裁縫をするのが好きな方はもとより、生地を切るだけでも、ご協力いただくと幸いです。不定期でロバくんを作製する会『幸区ロバくん倶楽部』も開催しています。



認知症サポーターキャラバンのキャラクター ロバくん

■ お問い合わせ：地域支援課

電話 044-556-6693

「さいわいメンタルヘルスチャンネル」YouTube公開中！

令和5年9月、幸区精神保健福祉連絡会の活動の一環として、youtubeチャンネル「さいわいメンタルヘルスチャンネル」を立ち上げました！地域の社会資源やメンタルヘルス講演会を動画で配信しています。

さいわいメンタルヘルスチャンネル

検索



※幸区精神保健福祉連絡会とは…平成17年6月に設立され、幸区内を中心とした精神保健福祉関係機関および関係団体等で構成されています。幸区における、様々な精神保健福祉に関わる関係機関、団体及び市民が連携し、住みよい地域づくりを目指すことを目的としています。

■ お問い合わせ：高齢・障害課

電話 044-556-6695

公園で元気に! プレパであそぼっ!!

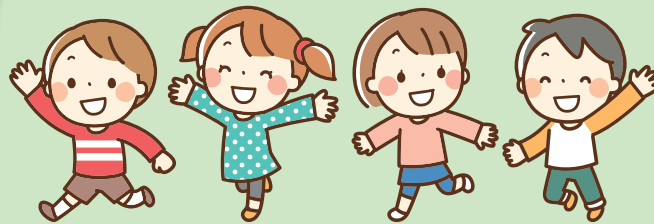
プレーパーク（プレパ）は「自分の責任で自由に
あそぶ遊び場」をモットーにした遊び場。
子どもの好奇心を大切に、外で思いっきり遊んでみませんか。

申込
不要

日時 9月11日(水) 13:30～16:00
※荒天中止

場所 さいわいふるさと公園(新川崎7)

※就学前のお子さんの参加は、保護者同伴でお願いします。



企画・運営: 夢見ヶ崎プレーパークをつくる会(幸区役所委託事業者)

■ お問い合わせ: 地域ケア推進課 電話 044-556-6703



出張青空子育てひろば おでかけぽかぽか

きれいな色の布、段ボール、色んな長さのロープなどなど、
親子でゆったり遊べる道具を持って、公園に“おでかけ”して
います。子ども（乳幼児）と保護者同士が遊びながら、楽しく
交流できる子育てひろばへ遊びに来てください。

申込
不要

場所	日時
さいわいふるさと公園	8/27(火) 9/24(火) 10/8(火) 10/22(火)
戸手第1公園	10:00～13:00
南加瀬けやき公園	9/17(火)
諏訪公園	10:00～13:00
小倉西公園	10/29(火)
ガタンゴトン広場	10:00～13:00

※雨天中止

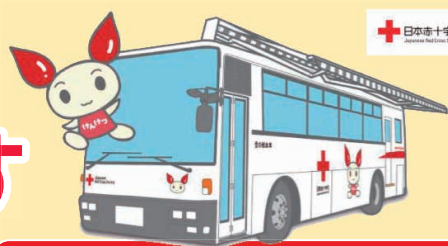
企画・運営: 夢見ヶ崎プレーパークをつくる会(幸区役所委託事業者)

■ お問い合わせ: 地域ケア推進課 電話 044-556-6703





輸血用血液の在庫が 非常に厳しい状況です



現在、関東甲信越で輸血用血液の在庫数が減少しており、依然として厳しい状況になっています。輸血用の血液は事故・手術のみならず、がんや白血病の治療にも利用されています。長期間の保存が難しく、毎日一定数の方の御協力が必要です。

血液使用量が増加しています！

神奈川県では、令和3年度から医療機関での輸血用血液製剤の使用量が増加しており、県内で使用される血液を確保することに苦慮しております。

貴方には人の命を助ける力があります ぜひ献血へ御協力をお願いいたします

血液は栄養や酸素の運搬など命を維持するために欠くことのできない機能を多く持っています。現在、血液の機能を完全に代替できる手段はないため、輸血は欠かすことができない治療法となっています。この状況が続くと、病気やけがで輸血を必要とする方への供給に支障を来す恐れがあります。

幸区役所に 献血バスが来ます！

日時 8月5日(月)
10:00～11:30
13:00～16:00



ラブラッドとは

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、事前の問診回答などが可能になりました。献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、接触機会の削減ができるので、安心して安全、より手軽に献血協力ができます。

スマホアプリ版が
はじまりました！



当日ご希望時間の3時間前まで400ml献血の予約も可能です

- 献血 Web 会員サービス「ラブラッド」会員の方はコチラから⇒
- 献血が初めての方
専用電話番号へ御連絡ください⇒ ☎ 0120-80-9995 (平日 9～17 時)



献血の基準 詳細は神奈川県赤十字血液センター HP を御確認ください

- ①年齢 16歳～69歳
※ 65歳～69歳の方は60歳～64歳の間に献血した方に限る
- ②体重 男性：45kg～ 女性：40kg～
- ③血圧 最高血圧：90～180mmHg
最低血圧：50～110mmHg
- ④体温 37.5℃未満の方

※男性 17 歳以上、女性 18 歳以上で体重が 50kg 以上ある方は 400ml 献血での御協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策として、献血をご遠慮いただく基準

- ①感染した方：
症状軽快から（無症状は陽性となった検査の検体採取日から）2週間以内の方
- ②感染が疑われる方：
症状出現日から2週間以内及び症状軽快から3日以内の方
- ③同居されている方が新型コロナウイルス感染者に該当し、発症日から1週間以内の方
- ④ワクチン接種された方：
ノババックスは接種から24時間以内、ファイザー・モデルナ・第一三共は48時間以内、J & J・アストラゼネカは6週間以内の方



あかちゃん銭湯で コニチワ!



幸区赤十字奉仕団では、子育てしやすい環境をつくるために、銭湯を拠点とした「子育て支援」に取り組んでいます。

昔、銭湯で行なわれていたように入浴後の赤ちゃんを地域のボランティアが預かりますので、お母さんには、その間、ゆっくりと入浴してもらいます。

入浴前には、衛生の話や親子遊びなど（30分程度）も行います。

たくさんのご参加
お待ちしております



日時 9月17日(火) 10:30～12:30

※ 10:20 までに受付してください。

場所 桐の湯 (南幸町 3-56)

対象 3 か月～3 才のお子さまとお母さま 12 組

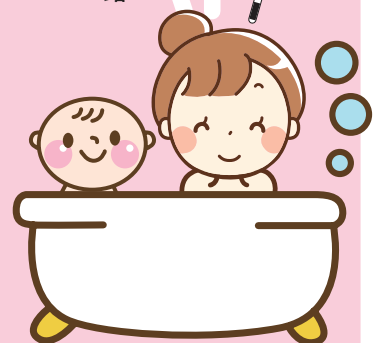
持ち物 石鹸、シャンプー、バスタオル、オムツ、着替えなど
入浴できる準備、ごみ袋（オムツはお持ち帰りください）、飲み物

費用 お子さん 1 人につき 150 円（保険料込）

申込期間 8月15日(木)～9月13日(金) **先着順**
※キャンセルされる場合はお電話にてご連絡ください。

申込方法 申込フォームから

申込フォーム



■主催 幸区赤十字奉仕団

■協力 川崎市南部浴場商業協同組合・浴場組合幸会

■お問合せ：地域ケア推進課

電話 044-556-6643

食中毒 に気をつけて！

～食中毒予防の三原則～



気温と湿度が高くなるこれからの季節、食中毒の原因となる細菌の多くが活発に増殖します。

家庭でも食中毒は起きますので、食中毒予防三原則を守って、食中毒を防止しましょう！



食中毒予防の三原則

1 食中毒細菌を「つけない」

- ・適切なタイミングで、石鹸を使い丁寧に手を洗いましょう。
- ・肉、魚など食材ごとに分けて扱い、相互の汚染を防ぎましょう。
- ・包丁、まな板は、食材が変わるごとにきれいに洗いましょう。

2 食中毒細菌を「増やさない」

- ・生ものや冷凍・冷蔵品の買い物は、最後にしましょう。
- ・室温で解凍せず、冷蔵庫や電子レンジを使いましょう。
- ・下処理した食材や残り物は、冷蔵庫で保管しましょう。

3 食中毒細菌を「やっつける」

- ・食品の中心まで火が通るよう、しっかり加熱しましょう。
- ・調理器具はきれいに洗い、消毒して清潔なものを使いましょう。

■ お問い合わせ：衛生課 電話 044-556-6683

市制 100 周年記念事業

ペットにまつわる100人のエピソード

募集期間：9月30日まで

大切なペットのエピソード&写真募集

触れ合うだけで心があたたかくなる、思い出だけで笑顔になる、そんなペットとの100のエピソードを1冊の本にします。大切なペットとのきずな、忘れられない思い出をエピソードにして記念に残しませんか。採用された方には100人の想いがつまった冊子をプレゼントします。

応募はこちらから



愛犬と歩いてつなぐ100万歩

募集期間：10月31日まで

愛犬との思い出を写真にみんなで100万歩を目指そう！

犬の飼い主の皆さん、愛犬とのお散歩をつなぎ合わせて100万歩を達成しましょう。お散歩の時間と愛犬の写真をお待ちしています。応募された方の中から抽選で毎月14名様（合計84名様）に素敵な賞品をプレゼントします。

参加はこちらから



■ お問い合わせ：「100年続く人と動物のきずなプロジェクト」実行委員会（川崎市動物愛護センター）
電話 044-589-7137 メール 40dobutu@city.kawasaki.jp

100年のきずな 検索



第7回 #想いをつなぐ

地域活動をされている方へのインタビューコーナー「#想いをつなぐ」。今回は「メロディーココ」の担当理事の前田絹子さんにお話をお伺いします。

メロディーココ

理事 前田絹子さん



ふまねっと運動

網を踏まないように注意深く、ゆっくり慎重に歩くやさしい運動。歩行機能や認知機能の改善、うつやとじこりの予防に効果が期待できます。



多世代の ココ食堂

地域の方とのつながりもできる! おおぜいで楽しく! 手作り料理でおいしく!

「メロディーココ」とは

「多世代の居場所」としてコミュニティカフェを中心に、くつろげる空間の「ほっとひといき」、歩行機能や認知機能の改善に効果がある「ふまねっと運動」、大勢で手作りの食事が楽しめる「多世代のココ食堂」、多彩な講座で学習できるココカルチャスクール（ココカル）などなど…たくさんの方のイベントを開催し、たくさんの方に親しまれています。



ココに来ると誰かに会える
ココに来ると誰かとつながる

——メロディーココにはどのような方が訪れますか？

赤ちゃんからシニア世代の方々が集う「多世代の居場所」として、地域の多くの方が訪れてくれます。

——日々の活動の中で印象的だったことや、素敵なエピソードはありますか？

イベントの運営のために、少しでもやれることはしたい、人の役に立ちたいと多くの方々がボランティアに来ていただいていることです。たくさんの方に支えられていることに感謝しながら日々、運営しています。また、「ただいま」と言って訪れてくれる若者や、一日に何回も来てくださる方がいたり地域の方の居場所として親しまれていることが実感でき、とても嬉しい気持ちになります。

——幸区がこの先どんな地域になればいいと考えますか？

孤立や分断がなく、誰もが安心して暮らし続けられる、そんな素敵な地域になっていったらいいと考えています。昔に比べて、今は人と人とのつながりが弱くなっていることを痛感しているので、つながりをもっと強めて、困ったことがあればお互いがお互いを助けられるような関係性を築いていくことが大切だと思います。

——今年でオープン5周年を迎えるメロディーココですが、振り返っていかがですか？

オープン後にコロナウイルスが流行したことで、色々な制約を受け、一時閉鎖したのですが、利用者の方に「いつ開けるの?」と言われ、居場所であるはずなのに閉めてはいけなと決意し、活動を再開したこともありました。そんな苦労もありましたが、今ではココ食堂に40人以上の方が訪れるようになり、少しずつ多世代の居場所になってきたんだと感じています。

——この先、将来のメロディーココをどのようにしたいと考えていますか？

子育て中も、年をとっても、障がいをもっても住み慣れたまちで安心して暮らし続けるために、「ほっとひといき」できる「多世代の居場所」となりたいと思っています。そして、人のつながりを強めながら「おたがいさまのたすけあい」が息づく豊かな地域づくりをめざしていきたいです。

メロディーココ

川崎市幸区中幸町 4-21
エステート鳥養 1 階
電話 044-533-8308
10:00 ~ 18:00



HP



Instagram